



高浜市 祖父母手帳



お孫さん 誕生の記録

お名前（愛称など）



お孫さんの様子など、
写真を貼りましょう



ひとこと

お孫さんが産まれたときの気持ちや、
地域の孫世代と関わって嬉しかったことを書いてみましょう

もくじ

- 発育・発達の日安・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 今と昔の育児の違い・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 親世代と祖父母世代の上手な付き合い方・ 9
- 防げる事故から孫を守ろう！・・・・・・・・・・ 13
- 市内のお出かけ先一覧・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 相談先一覧・・・・・・・・・・・・・・ 19
- 緊急時の連絡先・相談先一覧・・・・・・・・・・ 21
- マイ保健師・・・・・・・・・・・・・・ 23
- 災害時の備え・・・・・・・・・・・・・・ 25



発育・発達の日安

・子どもの発育、発達は節目の健診等で確認しましょう。

子の月齢	健診	身体機能		社会・認知		
0か月						
1か月						
2か月				動くものを 目で追う		
3か月	3-4か月 児健診					
4か月			首が すわる			
5か月		寝返り をする			人に 向かって 話すよう に声を出す	あー あうー
6か月		お座り をする				
7か月						
8か月			ハイハイ をする			
9か月				つかま り立ち をする		
10か月					大人の 真似を する	バイバイ をする
11か月						
1歳			1人で 歩き 始める		人見知り をする	
1歳半	1歳6か月 児健診			ジャンプ する		単語を 言う
2歳	2歳児 歯科健診					
2歳半			階段を 昇降す る			
3歳	3歳児 健診					
3歳半						3語文で 話す

※子どもの成長、発達には個人差があります

今と昔の育児の違い

時代の変化とともに育児の常識も変わってきており、昔は当たり前だったことが、今では推奨されないこともあります。今と昔の主な育児の違いをまとめましたので、これからのパパ・ママへのアドバイス、孫育てにご活用ください。

今

パパ・ママが産まれた頃

妊娠中の食事

太りすぎもよくありません。
ママはお医者さんや助産師さんと
話しながら考えているので見守っ
てあげましょう。

おなかの子の分もと
2人分食べていました。



さらし

おなかの保護にベルトタイプ、
ショーツと一体タイプの物を
使うママもいますが、何も
使わないママもいます。

安定期に入った戌の日から
さらしを巻いていました。



授乳

親子に合った形であれば、
母乳・ミルクどちらでも
構いません。



ミルクの方が栄養があると
言われていたこともありました。

卒乳

「いつまでに」という決まりはなく、自然の流れで「卒乳」という兼ね方が主流になっています。子どもとママのペースにあわせましょう。

母子健康手帳に「断乳」の記載がありました。現在はなくなっています。



お風呂あがり

離乳食が始まるまでは、お風呂あがりの水分補給は母乳かミルクを与えます。白湯や他の水分は特に必要ありません。

お風呂あがりには、白湯を与えていました。



スキンケア

皮膚トラブル予防のために、入浴やシャワーで清潔にした後、肌の状態にあわせてベビークリームやローション等を使い分けて保湿をしましょう。ベビーパウダーはつけ過ぎると毛穴をふさぐので、かぶれてしまうことがあります。

おむつを替えた後やお風呂あがりにベビーパウダーをつけていました。

離乳食

母乳にもミルクにも十分な栄養素が入っているので、果汁を与える必要はありません。

離乳食は、5～6か月頃から子どものペースに合わせて開始すればよいです。

アレルギーに注意するため、パパ・ママが与えたことがあるもの以外は与えないのが基本です。

はちみつ、黒糖等を含む食品は、乳児ボツリヌス症を引き起こす危険があるため、1歳を過ぎるまでは与えません。

離乳食の準備としてや、ビタミンCが不足しがちだったため、2～3か月頃から果汁や野菜スープをスプーンで与えていました。



食生活・おやつ

仕事から帰って料理をする時間がないこともあります。

最近のベビーフードは種類も豊富です。赤ちゃんの食事をレトルトにしているからと言って、愛情が無いわけではありません。

昔は離乳食から間食まで手作りしていました。



今

パパ・ママが産まれた頃



アレルギー

アレルギーの原因は、「食物」「動物」「植物」「その他」様々です。お子さんに食べ物を与える前や遊びに出かける前等、アレルギー反応がある食べ物や動物等がないか、パパ・ママに確認しましょう。アレルギーがある場合は、その対処方法をパパ・ママに確かめておきましょう。

好き嫌いや気のせい、わがままと思われていたこともありました。その後2008年頃までは、食物アレルギーに関しては、原因と思われる食品の摂取制限が母子ともに推奨されていました。



むし歯予防

砂糖の多いおやつは控え、毎日仕上げ磨きをしましょう。また定期的に歯科健診を受診し、フッ化物塗布などをしてもらい、むし歯を予防しましょう。

1980年頃から8020運動が始まりました。その頃からむし歯予防の指導に力を入れるようになり、「親の仕上げ磨き」が推奨されるようになりました。



日光浴

現在は母子健康手帳の「日光浴」の記載がなくなっています。赤ちゃんの皮膚は、紫外線の影響を受けやすいと考えられています。外出の際は、紫外線の強い時間帯(10時～14時)を避けたり、つばの広い帽子をかぶせる、肌にあう日焼け止めを塗るなど、紫外線対策をしましょう。

母子健康手帳にも記載があり、すすめられていました。



うつぶせ寝

乳幼児突然死症候群(SIDS)から赤ちゃんを守るため、医師からうつぶせ寝を指示されている場合を除き、あおむけで寝かせるようにしましょう。

頭の形が良くなると言われていました。

おむつ

紙おむつでも赤ちゃんの発達に影響を及ぼすことはありません。高性能の紙おむつもたくさん開発されています。汚れたら取り換え、清潔に保つことが大切です。布おむつ・紙おむつそれぞれに長所短所があります。どちらを使用するかを決めるのは、あくまでもパパ・ママです。

赤ちゃんの発達のために、布おむつが良いとすすめられていた時代もありました。



抱っこ

抱っこされることで心が安定し、情緒豊かに成長します。抱きぐせは気にせず抱っこしてあげましょう。

泣いてすぐ抱っこをすると抱き癖がつくと言われていました。



服 装

赤ちゃんは体温調節がまだ未熟です。汗をうまくかけないので、体温が外気温や衣服の状態に左右されます。ですが、今の赤ちゃんたちは快適な室温で過ごしているため、厚着させる必要はなく、こまめに衣服で体温調整を心がけましょう。

また、靴下も床によっては滑って危険です。寝返りやハイハイを始めた赤ちゃんにとっても、靴下は身体の動きを妨げてしまう場合があります。

風邪をひかないように厚着をさせていました。



トイレトレーニング

おむつ外しは、子どもの体調や発達をみながら気楽な気持ちで焦らず行います。

おむつは早く外すのが良いと言われていました。



歩 行 器

歩行器は「おもちゃ」であって、歩行開始を早める道具ではありません。

赤ちゃんの歩行訓練になると歩行器を使っていました。

今



パパ・ママが産まれた頃

チャイルドシート

6歳未満の幼児のチャイルドシート着用が法律で義務付けられています。車に乗せる時は必ずチャイルドシートを装着してください。

昔は大人が抱っこをして車に乗っていました。



しつけ

「おしりを叩く」「ベランダに出す」などは体罰にあたり、法律で禁止されています。子どもの前でパートナーと喧嘩をすることは、子どもへの心理的虐待となります。

「しつけのためには、体罰もやむを得ない」と考える人もいました。



パパ・ママの役割

パパも子育てに積極的に関わります。家事や子どものお世話等、夫婦で協力します。

父親は仕事が優先という時代で、母親が育児に専念していました。

予防接種

「定期接種」とそれ以外の「任意接種」があります。医療も進歩し感染症を防ぐため現在では予防接種がたくさんあります。感染症のなかには、かかると重い後遺症が残るものもあり、任意のワクチンも大切です。祖父母の方は送迎などのサポートをお願いします。

義務接種、集団接種をしていました。



親世代と祖父母世代の 上手な付き合い方

祖父母世代・親世代が力を合わせて子どもたちを育むことは、お互いにとっても子どもたちにとっても多くの恵みをもたらしますが、一方で子育てをめぐる意見がすれ違うことも、中にはあるようです。

そこで祖父母・親世代の方々に、うれしかったことや、もう少し気遣ってほしかったことなどの声をお聞きしてみました。付き合い方のコツを考えるヒントが見つかるかもしれません。ご参考にご覧ください。

親世代とのお付き合いのコツ

- ◎子育ての主役は親！祖父母はサポート役に
- ◎“まあ、いいか”の気持ちを持つのがコツ
- ◎親を信頼して、自分の考えを押しつけない
- ◎何かする時には、親に聞いてから行動する
- ◎親の方から頼まれたら出番です
- ◎若返りと思って、（孫との）毎日を過ごしていく
- ◎パパ・ママの考え方に耳を傾け、見守り、協力を！



～嬉しかったこと・気遣いが欲しかったこと～

祖父母側

嬉しかったこと

- ♥「ありがとう」「助かった」と感謝された
- ♥頼りにされた
- ♥大切にされる
- ♥孫の笑顔に癒された
- ♥孫の成長を感じられた
- ♥誕生日や七五三などの行事に参加・同行し、「今後も一緒に」と言われた
- ♥預かったことにより「安心して仕事に専念できた」「久しぶりにリフレッシュできた」と言われた
- ♥孫が敬老の日、誕生日などに手紙を書いてくれた

気遣いがほしかったこと

- ◆意見を否定された
- ◆聞き流された
- ◆感謝の言葉がなかった
- ◆食費・交通費がかかった
- ◆孫の面倒を見るのが当然のように言われた
- ◆孫に服を買ってあげたら、センスの悪さを言われた



親世代と祖父母世代の 上手な付き合い方

祖父母世代・親世代が力を合わせて子どもたちを育むことは、お互いにとっても子どもたちにとっても多くの恵みをもたらしますが、一方で子育てをめぐる意見がすれ違うことも、中にはあるようです。

そこで祖父母・親世代の方々に、うれしかったことや、もう少し気遣ってほしかったことなどの声をお聞きしてみました。付き合い方のコツを考えるヒントが見つかるかもしれません。ご参考にご覧ください。

祖父母世代との お付き合いのコツ

◎細かいことは気にせず、ある程度流せるくらいがいい

◎親しき中にも礼儀あり、程よい距離感がいい

◎祖父母の協力を当たり前と思わず、感謝の気持ちを忘れずに

◎協力してほしいことやパパ・ママの思いは、具体的に伝えたり話し合うことが大切



～嬉しかったこと・気遣いが欲しかったこと～



親 側

嬉しかったこと

- ♥子どもの遊び相手や面倒を見てくれた
- ♥子どもが寝ない時に助けてくれた
- ♥子どもの個性を認めてくれた
- ♥栄養のある食事の準備をしてくれたり、いたわってくれた
- ♥身の回りのことをやってくれた
- ♥買い物をして品物を届けてくれた
- ♥子どもを預かってくれてリフレッシュや睡眠の時間が確保できた
- ♥子育ての悩みを聞いてもらったり、話し相手になってくれた
- ♥上の子を預かってくれたり、病気の時に子どもを預かってくれた
- ♥子どもに会うと嬉しそうにしている
- ♥産後の身体を気づかってくれた
- ♥誕生日や入園、入学などイベントごとに祝ってもらえた

気遣いが ほしかったこと



- ◆子育てに口出しされた
- ◆親の批判をされた
- ◆昔の育児の常識やアドバイスをされたり、昔の育児と比べられた
- ◆自分の使ったお箸で食べさせていた
- ◆子どもの前でたばこを吸っていた
- ◆「ママに内緒」と孫との秘密を作っていた
- ◆子どもと遊びすぎて生活リズムが乱れた
- ◆好みでないプレゼントをされた
- ◆食べさせていない食材やおやつを食べさせていた
- ◆連絡なしで突然訪問された
- ◆毎週会いに来たり、写真やメールを催促された
- ◆子育てが大変で子どもがかわいいと思えない時に否定された
- ◆家事のやり方が自分と違いやり直された

防げる事故から孫を守ろう！

子どもの死因のうち、不慮の事故が大きな比率を占めます。大人が環境を整えるなど、気をつけることで事故を未然に防ぎましょう。

屋外



車

- 必ずチャイルドシートを使用する
- 車外に飛び出さないようドアにロックをかける
- 車の近くにいる時は目を離さない
- 車の中に子どもを取り残さない



自転車

- 自転車に乗せたまま離れない
- 自転車用のチャイルドシートに座らせ、ベルトをする
- ヘルメットを装着する

公園

- 首周りにフードやひものついた服は着せない
- 肩掛けカバンやマフラーははずす
- 目を離さない



屋内

玄関

- ドアの開閉で手足をはさまないように
- 観葉植物や土、肥料を口にしないように

キッチン・ダイニング



- 炊飯器やポットは手の届かないところへ
- テーブルクロスは引いて湯などをこぼすのではずす
- 流しの下に、包丁や洗剤など危険なものを置かない
- 熱い鍋などを放置しない

階段

- 上り口や下り口に柵をつける
- ひとりで上り下りさせない
- すべり止めをつける

ベランダ



- 踏み台になるものは置かない
- 窓の開閉で指をはさまないように

リビング・寝室



- たばこや灰皿、ライターは手の届かない場所に移動
- ソファなど高いところに寝かせない
- ベビーベッドは常に柵を上げておく
- コンセントは感電防止のキャップをしておく
- やけどしないように、アイロンは使い終わったらしまう
- 口に入る小さなおもちゃは与えない
- 小銭やクリップ、たばこ、電池などを放置しない
- 角が鋭い家具は、角にクッションテープをつける



お風呂場など

- 浴槽や洗濯機に水をためておかない
- 洗剤、化粧品、医薬品は手の届かない場所に移動



市内のお出かけ先一覧



公園



高浜小学校区

- **大山緑地**
春日町二丁目1番地1
- **さわたり夢広場**
沢渡町三丁目6番地16
- **乞殿児童遊園**
稗田町一丁目5番地24
- **やきものの里森前公園**
青木町九丁目7番地29

港小学校区

- **碧海公園**
碧海町二丁目6番地2
- **神明児童遊園**
碧海町三丁目2番地78
- **松本こども公園**
二池町六丁目1番地30
- **洲崎公園**
田戸町七丁目7番地20
- **外淵公園**
二池町四丁目204番地1

吉浜小学校区

- **大清水公園**
八幡町一丁目9番地1
- **大坪公園**
八幡町五丁目9番地14
- **八幡公園**
八幡町四丁目1番地16
- **山田公園**
小池町四丁目7番地11
- **小中根公園**
呉竹町四丁目13番地1
- **丸畑公園**
呉竹町一丁目2番地1
- **芳川児童遊園**
芳川町一丁目1番地56
- **吉浜下児童遊園**
呉竹町二丁目1番地6
- **高平公園**
(ドラゴンパークたかびれ公園)
芳川町二丁目1番地7
- **竜田公園**
芳川町二丁目6番地13
- **蛇抜公園**
芳川町三丁目6番地12

市内のお出かけ先一覧

公園



翼小学校区

- ・ 吉久伝公園
豊田町一丁目211番地1
- ・ 神明公園
神明町二丁目11番地1
- ・ 中部公園
神明町一丁目12番地1
- ・ ふれあい手づくり公園
神明町四丁目200番地6
- ・ 湯山公園
湯山町八丁目11番地1
- ・ 東中根児童遊園
湯山町一丁目9番地12
- ・ 後世山公園
湯山町五丁目9番地1
- ・ 高取児童遊園
神明町七丁目9番地2



高取小学校区

- ・ どんぐり公園
論地町二丁目2番地207
- ・ 八反田公園
向山町一丁目208番地2
- ・ フレンド公園
向山町一丁目1番地7
- ・ 向山子ども広場
向山町六丁目2番地50
- ・ 論地東子ども広場
論地町三丁目6番地47
- ・ 論地西子ども広場
論地町一丁目8番地5
- ・ 論地児童遊園
論地町五丁目3番地1



市内のお出かけ先一覧

図書館・図書室



高浜市やきものの里 かわら美術館・図書館

・本館

[住所] 高浜市青木町九丁目6番地18 [TEL] 0566-52-0240

・いきいき広場 図書・情報スペースとしょぴあ

[住所] 高浜市春日町五丁目165番地 [TEL] 0566-55-7532

・吉浜交流図書室

[住所] 高浜市屋敷町五丁目12番地8 [TEL] 0566-54-2041

・高取ふれあいプラザ図書室

[住所] 高浜市向山町一丁目214番地4 [TEL] 0566-55-7957



子育て支援センター



・いちごプラザ

[住所] 高浜市沢渡町三丁目3番地1 [TEL] 0566-52-5232

・子育て支援センター あっぼ

[住所] 高浜市田戸町三丁目8番地21 [TEL] 0566-56-2725

・認定こども園翼幼保園 ひなたぼっこ

[住所] 高浜市神明町二丁目8番地2 [TEL] 0566-95-5055

・よいけ保育園 はっぴー

[住所] 高浜市湯山町四丁目7番地13 [TEL] 0566-53-5141

・ひかりこども園子育て支援センター

[住所] 高浜市清水町六丁目6番地37 [TEL] 0566-70-7501

市内のお出かけ先一覧

児童センター

- ・ 東海児童センター

〔住所〕 高浜市田戸町二丁目2番地59 〔TEL〕 0566-52-5126

- ・ 翼児童センター

〔住所〕 高浜市神明町五丁目1番地1 〔TEL〕 0566-54-2833

- ・ 吉浜児童センター

〔住所〕 高浜市呉竹町三丁目8番地20 〔TEL〕 0566-52-1019

- ・ 高浜児童センター

〔住所〕 高浜市青木町六丁目1番地15 〔TEL〕 0566-57-6468

情報配信

◆子育て支援ネットワーク

👉 閲覧はこちらから



◆子育て支援LINE

👉 登録はこちらから



◆高浜市公式LINE

登録はこちらから👉



相談先一覧

健康推進グループ（保健センター）

妊娠・出産・子育てに関する相談ができます。

保健師・助産師が対応します。

日時：平日（祝日・年末年始を除く）8時30～17時15分

場所：いきいき広場 2階

電話：0566-95-9558



こども家庭センター

専門スタッフ相談	相談内容
妊娠出産・子育てに関する相談	保健師による個別相談[子育て子育て全般]
	助産師による個別相談[妊娠出産に関すること]
発達に関する相談 【予約制】	臨床心理士による個別相談 子育てや発達に関すること
	言語聴覚士による相談 ことばやコミュニケーションへのアドバイスと練習
	作業療法士による相談 手先や体の使い方の不器用さへのアドバイスと練習
こども子育て相談員	小中学生・子育ての悩みごと
家庭児童相談員	子ども・家庭の悩みごと
母子・父子自立支援員	母子・父子家庭の様々な悩みごと

日時：平日（祝日・年末年始を除く）8時30～17時15分

場所：いきいき広場 3階 こども家庭センター

電話：0566-52-9872

相談先一覧



一時保育

急に仕事が入った時、病院に行く時、冠婚葬祭の時、趣味に打ち込みたい時、疲れた時などにお子さんを一時的に保育します。

お問合せ先：こども育成グループ（0566-95-9563）

詳しくはこちらから👉



ふれあいサービス

ふれあいサービスは、地域の困りごとを地域の協力会員によって支える相互扶助の活動です。

お問合せ先：高浜市社会福祉協議会（0566-52-2002）

詳しくはこちらから👉



高浜市シルバー人材センター 家事支援

家事援助サービス（掃除・洗濯・食事作りなど）や育児支援サービス、ゴミ分別拠点当番代行等の仕事をお手伝いします。

お問合せ先：高浜市シルバー人材センター

（0566-52-5081）

詳しくはこちらから👉



緊急時の連絡先

	名 前	電 話 番 号	住所・所在地
家族の情報 携帯電話や 勤務先			
子どもの かかりつけ医			
タクシー会社			

※携帯電話等にも登録しておきましょう。

★病院受診に付き添う際に必要なもの

- | | |
|--|------------------------------------|
| ☐ 母子健康手帳 | ☐ 診察券 |
| ☐ 健康保険証 | ☐ 子ども医療受給者証 |
| ☐ お薬手帳（あれば） | ☐ おむつ、着替え |
| ☐ ミルクや水分を補給するもの | |



お孫さんの情報

お孫さんの名前	
生年月日	
出生体重	
アレルギー	
現在内服している薬	

※受診時の体重を把握していると、よりスムーズに受診できます。

緊急時の相談先一覧



★迷ったときは、ここに電話

- 育児もしもしキャッチ（あいち小児保健医療総合センター）
火曜日から木曜日（外来休診日を除く）午後5時から午後9時まで

◆専用電話 ☎0562-43-0555

◆育児つながるLINE →



- 子ども医療電話相談

毎日午後7時から翌朝8時まで

小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や、受診する

病院等のアドバイスが受けられます

◆相談電話番号 ☎#8000（短縮番号）

☎052-962-9900（短縮番号が使えない場合）

- 救急医療情報センター

24時間365日体制で、電話による医療機関の案内を行っています

◆☎0566-36-1133

★薬品や有害物質を飲んでしまったら

公益財団法人 日本中毒情報センター

●つくば中毒110番（24時間対応） ☎029-852-9999

●大阪中毒110番（24時間対応） ☎072-727-2499

●たばこ誤飲事故専用電話 ☎072-726-9922

（24時間対応 自動音声応答による情報提供）



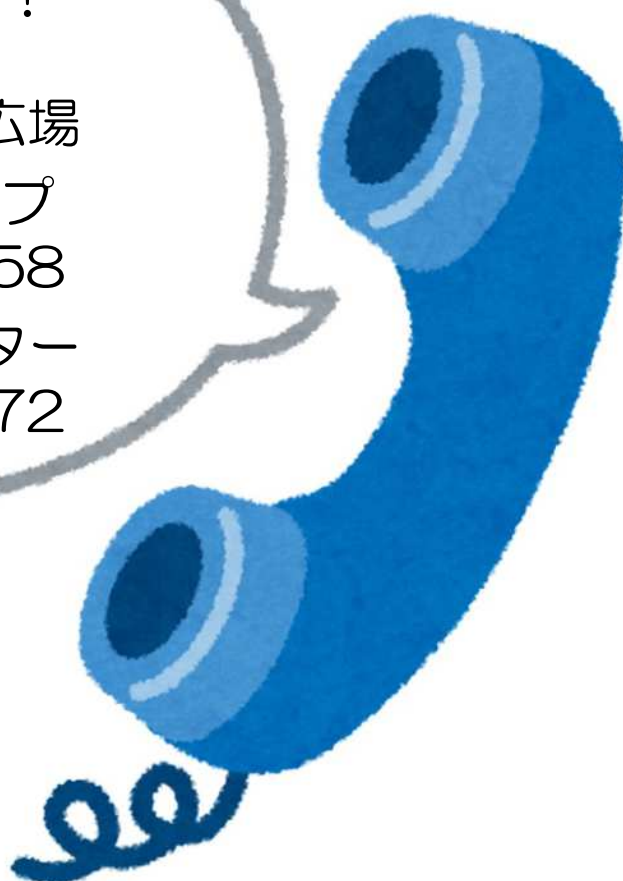
マイ保健師（地区担当保健師）

小学校区ごとにマイ保健師がいます。
困りごとがあれば、マイ保健師にいつでも相談してくださいね。

	みなみ地区		きた地区	ひがし地区		こども家庭センター
小学校区	高浜小学校区	港小学校区	吉浜小学校区	翼小学校区	高取小学校区	
町名	青木・春日 沢渡・稗田	碧海・田戸 二池	呉竹・小池 新田・八幡 屋敷・芳川	神明・豊田 湯山	清水・本郷 向山・論地	（こども発達センター）
マイ保健師 【地区担当 保健師】	 彌宜田・小笠原	 加島・武藤	 山本・佐藤・大和	 東・脇・早川	 若松・石原	 神谷・岩田

お気軽に
ご相談ください！

高浜市いきいき広場
健康推進グループ
0566-95-9558
こども家庭センター
0566-52-9872



～MEMO～



災害時の備え

どこに逃げる？



災害が起きた時、みんなバラバラの場所にいるかもしれません。一度、家族で話し合っておきましょう。

- いつとき避難場所：
- 広域避難場所：
- 避難所：
- 家族の最終集合場所：

家族との連絡方法



連絡がつながりにくくなった場合に活用してみてください。

★災害用伝言ダイヤル171

（固定電話、携帯電話、スマホ）

★災害用伝言版

（PC・スマホのインターネット）

高浜市 ハザードマップ



家の中を安全にしよう！



家具・家電の固定

家具の転倒は
命にかかります！
倒れたり、
飛んでこないように
固定しましょう。



家具のレイアウトの見直し

身に危険のない、避難が
できるような工夫を。



ガラス飛散防止

ガラス飛散防止フィルム
を貼ったり、カーテンを
二重にしておく。



棚の中身の飛び出し防止

ストッパーを付けて、
棚の中身の飛び出しや
落下を防止。



《参考》

- ・ 社会保険出版社：妊娠中の災害対策、乳幼児のための防災グッズ
- ・ 日本子ども家庭総合研究所：乳幼児と保護者、妊産婦のための防災ハンドブック
- ・ 母と子の育児支援ネットワーク：「災害時の母と子の育児支援 共同特別委員会」

赤ちゃんの防災グッズリスト



☐ 粉ミルク



☐ 水



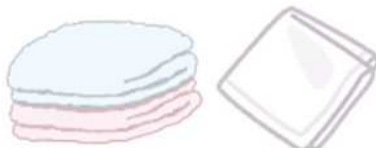
☐ 哺乳瓶



☐ ベビーフード



☐ バスタオル
ガーゼハンカチ



☐ 抱っこ紐



☐ おむつ・ポリ袋



☐ おしりふき



☐ おもちゃ



☐ スプーン・紙皿・
紙コップ
使い捨てカイロ



☐ 母子健康手帳・
保険証のコピー



《災害時の授乳》

- 母乳：一時的に量が減っても、
頻繁に飲ませることで分泌
水分や栄養をできるだけ取りながら、
いつものペースで授乳します。



- 粉ミルク：徹底した衛生管理が大切です。
哺乳瓶や乳首はできれば使い捨ての物を。



消毒

人肌に冷ます



70℃以上で調乳

※細菌を死滅させるため

- 液体ミルク：調乳の必要がなく、殺菌されている。
開封前なら常温（おおむね25℃）で保存OK
海外のものは賞味期限の表記方法に注意！
（例：英国式 日/月/年、米国式 月/日/年）

- 紙コップの授乳
清潔な哺乳瓶を使用できない時に紙コップで哺乳する方法

- ①赤ちゃんが完全に起きている状態で、縦抱きする。
- ②コップに赤ちゃんの下唇に軽く触れ、ミルクが上唇に
触れるようにする。
- ③コップの位置を保ち、ゆっくり飲ませる。



発行：高浜市 健康推進グループ
高浜市春日町五丁目165番地
TEL 0566-52-9872
FAX 0566-52-7918

